

2014年
2月



放映の感動的なワンシーン！（ザンビア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆様の御支援、サポート、いつも本当にありがとうございます。
皆様にお知らせしていました、ザンビア孤児院のテレビ放映ですが、12月30日に放送されました。年末の特別番組ということで大変人気があるようで、この番組に取り扱われたことは、大変有り難く感じました。今はまだ検討中なのですが、カンボジア孤児院の取材を打診してきたテレビ局もあり、ぜひ大勢の方々に私どもの働きを知っていただければ、と願って止みません。

今回のテレビ放映ではあまり目立ちませんが（目立たないよう放送されたいと思いますが）、孤児院の運営に関しては、経費を切り詰めるだけきりつめて活動しております。ザンビア孤児院をはじめ、カンボジア孤児院やフィリピン孤児院でも、運営費がかなり不足しているのが正直なところです。私共の節約はもちろんです、こればかりは皆様のご理解、御協力にすぎるばかりです。

皆様のお力で子供たちを元気づけて頂くことができれば、これより幸いなことは他にございません。どうかこれからも御支援、サポート、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

子どもたちが通っているミッシヨンスクールの教会で、12月に子どもたち14人がゴスペルソングを披露しました。今回もあえて日本語で歌うことを自分達で選択し、長い歌詞も見事に暗記して歌う事が出来ました。本人達にとっても、いろいろなことにチャレンジするとてもよい機会だったと思っています。

カンボジアの新年は4月なので、1月1日だけが祭日になっていますが、ここ数年、西暦の新年を祝う行事なども増えてきています。経済発展が著しい中、資金アップを要求するデモ行進やストライキなどが、12月頃から始まり、死傷者も出ているようです。子どもたちを取り巻く環境が日々変化している中で、状況に振り回されることなく、自立に向けて1人1人、最善の準備が出来るように、私たちがスタッフ一同も支援体制を強めて行きたいと願っています。皆様の継続したご支援を、どうぞよろしくお願い致します。



ゴスペルを歌う子どもたち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

礎の石フィリピン孤児院への皆様のご支援を心から感謝致します。2週間のクリスマス休暇を子どもたちは思いつきり楽しみました。

休暇の後、子どもたちが集まった時に、各々、贈り物をもたらした話で盛り上がりました。子どもたちはおもちゃや、Tシャツ、アクセサリー、キャンディー、チヨコレート、タオル、枕、毛布などももたらしたようです。子どもたちは皆、ほしいと思っていたものと違っているも喜んで満足しているとのことでした。

子どもたちの中には、健康であるから幸せだと答えた子どもたちもいます。

肉体的にも精神的にも1歩、1歩成長している姿は非常に大きな喜びです。また、皆様のご支援が子どもたちを大きく成長させてくださっているのです。

礎の石フィリピン孤児院の子どもたちに対応する、皆様のご支援、ご協力に心から感謝致します。引き続きご支援いただきますよう、どうぞよろしくお願致します。



スモークーマウンテンの子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちには）皆様のご支援に、ザンビア孤児院一同、心から感謝申し上げます。皆様の日頃のご支援に、心より感謝申し上げます。

昨年 12 月 30 日の夜、テレビ東京系列の番組「世界、ナゼそこに日本人」の特集番組が生まれ、そこでわたしたし達のザンビア孤児院での働きが、大きく取り上げられました。

視聴して下さった方々からは、「感動した」「人生観が変わった」などと、とても良い反応を頂き、わたしたし達も励ましを受けました。

思い起こせば、2004 年に私自身がザンビアに渡り、孤児院の建設が始まったから、今年で 10 年目の節目を迎えます。その時に、皆様に約 50 分のドキュメンタリーという形で、孤児院の働きの一端を見ていただくことができたとするのは、今後の働きにとっても、大きな力になりました。

幼かった子どもたちも、成長して、教育費の必要も増えてきています。どうかこれからも、末永いご支援をお願い致します。



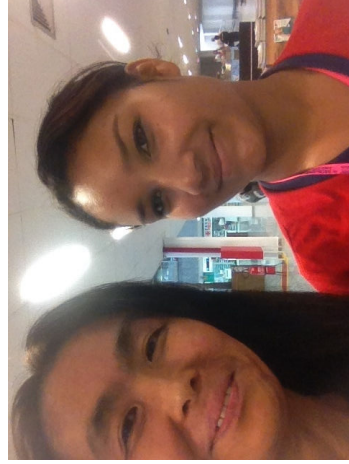
学校を紹介しているシーン！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とご協力をいつもありがとうございます。

さて、前号でグアララパスから久しぶりに電話をくださった方のことを書きましたが、さらに先月は彼女のお友達で、グアララパスの政府系病院に勤めておられる看護婦さんと、アラサトウーバの繁華街でぱったり会いました。彼女もグアララパスでの児童養護施設開設のために協力したいと申し出てくださっている人です。ブラジルで児童養護施設を開設するには、彼女たちのようなプロフェッショナルの方々との協力がどうしても必要となってきます。アラサトウーバ市内の児童養護施設の 19 人の子供たち（男子 13 人、女子 6 人）にささやかなプレゼントをすることができました。地域の方々にご協力をいただきましたさまして、感謝しています。



ブレンダさんと松本スタッフ！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもろろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いないもう生まきてはいなかったと思える子どもたちばかりです。現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail: ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>